



社協 かわじま



今年も赤い羽根共同募金運動が10月1日から実施されました。
地域福祉の推進を図ることを目的に全国一斉に行われています。
募金は大規模災害時の被災者支援や地域で行う各種福祉活動、ボランティアの育成、民間福祉施設整備等に役立てられます。



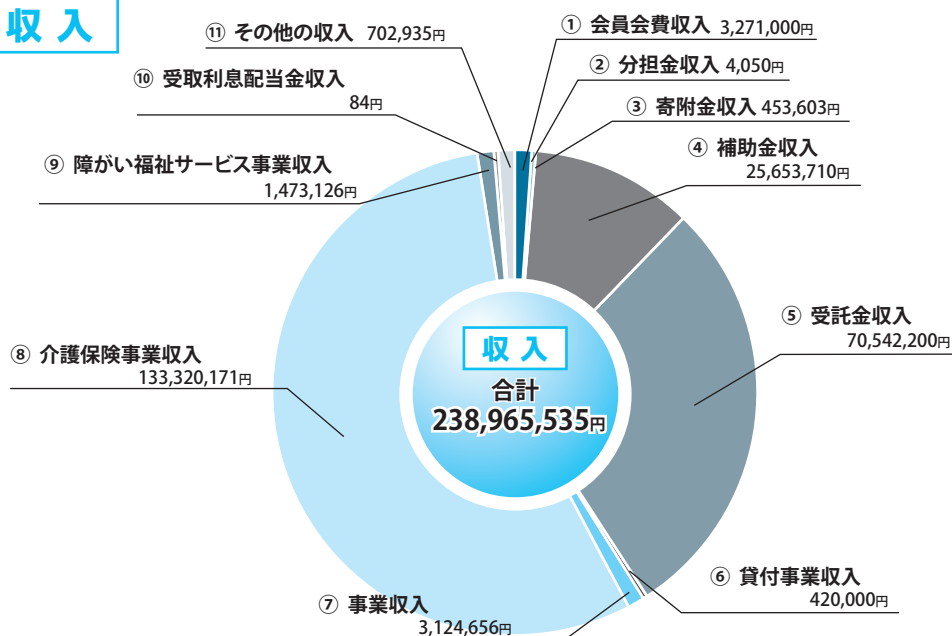
- ・ 決算報告
- ・ 事業報告
- ・ 社協の情報コーナー
- ・ 歳末たすけあい運動
見舞金贈呈に関する申請案内

令和4年度 事業・決算報告

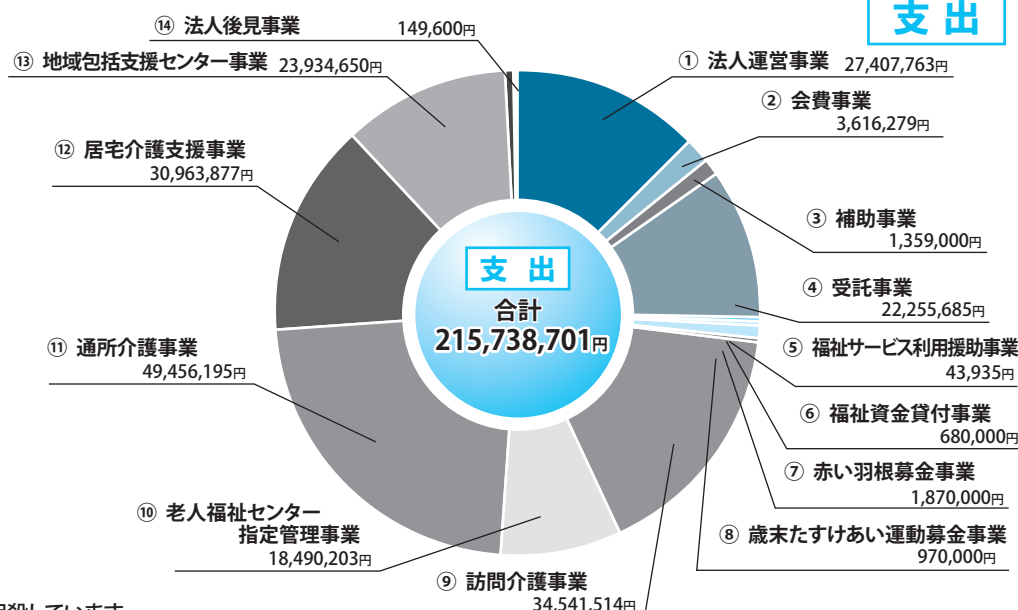
住民の皆さまからのご協力

会員会費額	3,271,000円
赤い羽根共同募金額	2,657,748円
歳末たすけあい募金額	1,062,771円
一般寄附金額	453,603円

収入



支出



※内部取引は相殺しています。

会費事業

会員会費を財源とした生活支援、介護予防サービス等を行いました。

①かわじま安心お助け隊事業

有償ボランティアが、援助の必要な高齢者や障がいがあるかたの通院や買い物等の生活支援を行いました。

・利用会員数 600名

・利用実績 1,112件

②ボランティアセンター事業

ボランティアに関する相談、情報提供、登録、コーディネート、保険加入などの支援を行いました。

・登録団体 11団体 446名

・個人登録数 48名

・ボランティア活動保険加入者 630名

・夏休みボランティア体験学習 30名

③ふれあい活動（見守り活動）

一人暮らし高齢者や高齢者世帯に対して、民生委員・児童委員や近隣住民による見守りと支援を行いました。

・対象世帯 32世帯

・推進員数 65名

④常設サロン助成事業

住民同士で運営する、地域住民が気軽に集まれる拠点（サロンの）の運営を支援しました。

⑤福祉協力校助成事業

小学校、中学校の児童・生徒を対象に、福祉に関する学習や

実践活動を通して、「福祉のこころ」を育てることを目的に、町内小中学校を福祉協力校に指定し推進を図りました。

福祉体験学習として、小学校での車いす体験やアイマスク体験、また認知症サポーター養成講座を実施しました。

・実施回数 2回

・100歳の祝い 100歳のお祝いに社協会長が訪問し、寿状、祝い金の贈呈と記念写真の撮影を行いました。

・対象者数 4名

・米寿の祝い 民生委員・児童委員の協力により、88歳のかたを訪問し、記念品を贈呈し長寿をお祝いしました。

・対象者数 100名

・戦没者遺族支援事業 戦没者遺族に対する支援を実施しました。

・盆中慰問の実施（戦没者遺族へ遺族連合会役員による線香配布）284世帯

・戦没者遺族による慰霊参拝 6名

・地区敬老事業への支援 敬老、交流を目的に、公民館主催の敬老事業へ助成金を交付しました。

・助成件数 5件

・福祉関係団体の支援 福祉関係団体の事務局として育成、支援を行いました。

・さわやかクラブ川島連合会

・川島町手をつなぐ育成会

・川島町遺族連合会

・川島町赤十字奉仕団

・車いす、シルバーカー、車いす対応自動車の貸し出し

日常生活の中で、移動が困難な心身障がい児（者）及び虚弱高齢者等に、車いす、シルバーカーや車いす対応自動車の貸し出しを行いました。

・車いす貸出件数 58件

・シルバーカー貸出件数 4件

・自動車貸し出し件数 81件

・フード&ライフドライ

長引くコロナ禍による休業、失業が広がる中で、日々の食事や日用品の確保に困窮する子育て世帯に対して、食料品や日用品を提供するために町民からの寄付を募りました。

・期間 10月1日～11月30日

・提供人数 39名

・提供点数 300点

（うち米1,183kg）

・フード&ライフドライブで提供

いただいた食料品・日用品を子育て世帯等に配布しました。

・期間 1月23日～1月28日

・配布先 49世帯

・2事業所、2団体

・地域包括ケア実習

地域包括ケアシステムにおける住民支援のありかたと看護師の役割について学習する大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科の

学生を受け入れました。

・実施日 6月13日～7月1日のうち12日間

・受入人数 19名

補助事業

補助金を財源とした高齢者福祉事業及び戦没者遺族支援事業を行いました。

①100歳の祝い及び米寿の祝い事業（再掲）

②戦没者遺族支援事業（再掲）

③地区敬老会事業助成事業（再掲）

受託事業

受託金を財源とした高齢者福祉、子育て支援事業及びふくし総合相談事業を行いました。

①ハッピー体操

健康づくりや介護予防、また、地域での交流を目的として、65歳以上の方を対象に、ハッピー体操を実施しました。

・活動実績 9か所、386回

・延べ参加者数 4,663名

・サポーター数 64名

②第30期シニア学園

60歳以上のかたに学習の場を提供し、健康で明るく心豊かな社会生活が送れるための教養講座を実施しました。

・受講者数 19名

・開催回数 11回

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開講日を遅らせて実施しました。

③ファミリーサポートセンター

「子育てを手伝ってほしい人」と「自分の空いた時間で子育てのお手伝いができる人」が会員となつて、地域ぐるみで行う子育て支援事業を実施しました。

- ・会員数 援助会員119名
提供会員10名、両方会員1名
- ・利用件数 335件
- （保育園及び学習塾等の送迎、児童預かり等）

④生活支援体制整備事業

地域包括ケアシステム構築の基礎となる高齢者の生活支援サービスの構築や必要な事業の検討を行いました。

- ・第1層協議体 3回
- ・地域ささえあい協議体 1回
- ・第1層協議体・地域ささえあい協議体合同会議 1回
- ・地域ケア会議 12回
- ・通信・チラシ発行 25回
- ・集いの場 32回
- ・弁当・食料配布 12回
- （その他 スマホ体験講座開催 各種研修会参加）

⑤ふくし総合相談事業

福祉の困りごとについて、相談内容に応じた対応、関係機関との連絡や調整等を行いました。

- ・相談件数 246件

福祉サービス利用援助事業
（あんしんサポートねっと）

判断能力が不十分なたたかにに対し、安心して生活が送れるように生活支援員が定期的に訪問し、福祉サービスの利用や暮らしに必要なお金の出し入れなどを行いました。

- ・契約件数 12件
（高齢者5件、障がい者7件）

福祉資金貸付事業

低所得者、高齢者、障がい者や離職者等の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図るため資金の貸付と必要な相談支援を行いました。

- ・社協貸付事業生活資金 12件
- ・県貸付事業 新型コロナウイルス感染症特別貸付 22件
- ・緊急小口資金 16件
- ・総合支援資金 16件
（延長含）

赤い羽根募金事業

赤い羽根共同募金を財源とし、地域福祉の推進を目的とした事業を実施しました。

①広報紙の発行（6、9、1月）

社協かわじまを発行し、福祉サービス、活動状況などを周知、広報活動を行いました。

②社会福祉表彰式の開催

家庭において高齢者や障がい者（児）にまごころを込め、献身的に介護されているかたや、長年、社会福祉事業に功労のあつ

たかたの表彰を行いました。

- ・実施日 11月3日
- ・場所 川島町役場1階ホール
- ・内容 表彰式典
社会福祉事業功労者表彰

まごころ介護表彰 11名 1団体
まごころ介護特別表彰 8名

③単身高齢者給食サービス（毎月第3木曜日）

一人暮らし高齢者を対象に、毎月第3木曜日に赤十字奉仕団による弁当の宅配サービスを実施しました。

・利用者累計 394名

④民生委員と学校の話し合い

児童の健全育成のために、町内各小学校の先生と民生委員・児童委員が各学校で話し合いを通じ、家庭環境等情報交換を行いました。

⑤おやこのつどい

民生委員・児童委員協議会協力のもと、ボッチャ・ビンゴ大会を開催しました。

歳末たすけあい運動募金事業

歳末たすけあい募金を財源とし、歳末の時期、支援を必要とする世帯が、明るくお正月を迎えるために贈呈事業を実施しました。

新たな年を迎える時期に、歳末たすけあい運動による町民の皆さまからの募金を、品物に変え、支援を必要とする世帯等へ民生

委員・児童委員等を通じて贈呈をしました。

- ・対象世帯 482世帯

介護事業

①訪問介護事業（ホームヘルパー）

利用者の特性を踏まえて、その能力に応じた日常生活を営むことができるよう、ホームヘルパーを派遣して入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行いました。

- ・月平均利用者数 59・2人
- ②高齢者外出支援事業（福祉有償運送）

要介護及び要支援のかたを対象に、病院、役所等の公共施設、日常生活を行う上で特に必要な場所への送迎サービスを実施しました。

- ・利用件数 786件

③産前産後ヘルパー事業

家事及び育児等の協力が家族等から受けられず、日常生活に支障が生ずる妊娠中のかた、又は満1歳未満の子を養育するかたに対し、生活に必要な家事の支援を行うホームヘルパーを派遣し子育てを行う家庭の支援を行いました。

- ・利用件数 1件

④通所介護事業（デイサービス）

利用者の心身の特性を踏まえて、その能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の機能訓練などを行い、利用者の社会孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家

族の身体的、精神的負担の軽減を図る目的で実施しました。

⑤ 月平均延べ利用者数 558人 ⑤ 居宅介護支援事業（ケアマネジ メント）

要介護状態等になった場合においても、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じて可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう配慮し、利用者の希望に沿った適切な保健・医療・福祉のサービスが、多様な事業所から総合的かつ効率的に提供できるような事業を実施しました。

・月平均利用者数 170・2人

老人福祉センター事業

高齢者の介護予防の推進、教養の向上及びレクリエーションの実施など、高齢者福祉増進の拠点として、高齢者が健康で明るい生活が過ごせるよう、施設内の維持管理と運営を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大を防止するため、入館時の検温、消毒の徹底、町内在住者に限った利用、入浴の人数制限等を実施しました。

・利用カードの発行 51名
（60歳以上希望者）
・避難訓練の実施（年2回）
・延べ利用者数 12,069人

地域包括支援センター事業

介護・医療・保健・福祉など

の側面から高齢者を支える相談機関として、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門の職員が、高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定のため必要な援助を行うことを業務とし、高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を支える役割を果たす機関として、様々な相談を受付けました。

① 介護予防ケアマネジメント事業

町が把握、選定した特定高齢者についての介護予防ケアプランを作成し、必要な援助を行いました。

・対象者数 85名

② 総合相談・支援事業

総合相談対応及び専門的・継続的な相談支援、その実施に当たって必要となるネットワークとの連携や実態把握を行いました。

・対象者数 359名

③ やすらぎ保健室

老人福祉センターやすらぎの郷で、「やすらぎ保健室」を月1回設置し、保健師が血圧測定や健康相談を通じて、困りごとや心配ごとの相談に応じています。

・対象者数 158名

④ 権利擁護事業

成年後見制度の活用促進、老人福祉施設等への措置支援、高齢者虐待や困難事例への対応、消費者被害防止等、高齢者の生活維持を図りました。

・高齢者虐待の相談 通報 16件

・川島町高齢者虐待防止ネットワーク全体会議の開催、研修動画を八開

⑤ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

川島町内にある居宅介護支援事業所のケアマネジャーとの勉強会や研修会、情報交換会を実施しました。支援困難事例は、地域ケア会議に事例提供し、専門職のアドバイスを受けることができました。ケアマネジャー等への日常的な個別指導や支援を行いました。

⑥ 指定介護予防支援 介護予防サービスマネジメント計画 （ケアプラン）作成

要支援者における介護予防サービスマネジメント計画を作成するとともに、介護予防サービスマネジメント計画に基づき、介護予防サービスマネジメント計画との連絡調整を行いました。

・ケアプラン作成人数 1,759人

⑦ 若返りサロン

若返りサロン（通所型サービスマネジメント）は、要支援者や特定高齢者のC）を、要支援者や特定高齢者のC）を対象に、週1回、356か月間、理学療法士の指導による運動教室を実施しました。

・延べ利用者数 380人

⑧ 認知症を支える家族支援事業

奇数月に認知症を支える家族の交流会を実施し、認知症の介護経験のあるかたや現在介護しているかた等の情報交流の場として開催しました。

・参加者数 22人

⑨ 認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座は、認知症を正しく理解し、認知症になっても地域で安心して暮らしていけることができる地域を目指して養成講座を開催しました。中山小学校と伊草小学校の6年生対象に小学生向けの養成講座を開催しました。

・開催回数 15回

・受講者数 395名

⑩ オレンジカフェ

認知症のかた、その家族、地域のかたが誰でも気軽に立ち寄り、専門職への相談や情報交換ができる場を開催しました。

・延べ参加者数 70名

⑪ 認知症初期集中支援チーム

認知症初期集中支援チームでは、町内の40歳以上で認知症が疑われるかた、または認知症のかたで医療サービスを受けていないかたや適切な介護サービスに結び付いていないかた等を対象に、医師・看護師・行政と一緒に自宅を訪問し、相談や関係機関との連携、家族支援を行いました。

・訪問件数 16件

⑫ こころのクラブ

どなたでも気軽に参加でき、介護予防ボランティアを中心に体操をし、転びにくい体作り支援を行いました。

・延べ参加者数 1,379名

社協の情報コーナー

ご家庭で不要な食料品や日用品がありましたら是非ご寄贈ください！

フード&ライフドライブ にご協力をお願いいたします！

フード&ライフドライブってなに？

家庭で余っている食料品・日用品を持ち寄り、生活に困窮している個人や団体等に寄付する活動です。

- 受付期間 令和5年11月30日（木）まで
午前8時30分～午後5時15分（※土・日、祝日は除く）
○場 所 川島町社会福祉協議会（川島町大字平沼1175 川島町保健センター内）

寄付いただきたいもの

【食料品】

常温保存可能で、賞味期限が3か月以上あるもの

・穀類（お米、乾麺など）	・保存用品（缶詰、瓶詰など）、菓子類
・調味料各種、食用油	・インスタント食品、レトルト食品
・飲料（水、ジュース、お茶など）	・ギフトバック（お歳暮、お中元など）

【日用品】

未使用・未開封品で以下のもの

ティッシュペーパー・トイレットペーパー・洗剤・石鹸・スポンジ・ラップ
シャンプー・コンディショナー・生理用品・子供用おむつ
※ペーパー類については包装された状態でお願いいたします。



<お問い合わせ先>

川島町社会福祉協議会 049-297-7111

不登校相談事業の紹介「かくれんぼ」

不登校相談「かくれんぼ」では、高校生、大学生、専門学校生等で、学校在籍中に不登校となっている方の相談を下記のように開始します。一人で悩まずに、まずはご相談ください。ご連絡をお待ちしています。



- 場 所：中山公民館1階
- 日 時：土曜日（要事前予約）
- 年内予定：10月は13時～16時 11月、12月は10時～16時
- 申込先：FAX 049-297-8572 及川宛
※お手数ですが、FAXでご予約願います。
※返信の宛名、連絡先を忘れずにご記入ください。
※可能な方は、現況をお知らせください。
- 相談員：元中高の教員、福祉心理専門職

ボランティア募集！高校生の通学支援運転ボランティア

ボランティア団体『高校生送迎サポート』では、町内高校生の通学支援のため、高坂駅、坂戸駅への送迎を行っています。送迎車両を運転するボランティアを募集していますので、興味、関心のある方はボランティアセンターまでご相談ください。

高校生の
送迎サポート



●お問い合わせ先

川島町ボランティアセンター（社会福祉協議会内） 049-297-7111

夏のボランティア体験プログラムのご報告

～夏ボラにご参加・ご協力いただき大変ありがとうございました～

「夏のボランティア体験プログラム」は、地域の方々がボランティア活動に参加できる機会を提供し、ボランティアに対する興味・関心を深めていただくことを目的に実施いたしました。今年度は44名の皆さんにご参加いただきました。「おうちでボランティア」にて作成いただいた雑巾は、当事業にご協力いただいた町内福祉施設へ寄付をさせていただきます。



＜活動にご協力いただいた町内福祉施設＞

- | | |
|-------------------|----------------|
| ・特別養護老人ホーム永楽園 | ・特別養護老人ホームひまわり |
| ・デイサービスセンターやすらぎの郷 | ・あすか川島工房 |
| ・ワーク&ライクのびっこ | ・つばさ南学童クラブ |
| ・つばさ北学童クラブ | ・どおりむくらぶ会 |
| ・学童保育かっぱくらぶ | ・子育て支援総合センター |
| ・川島町立さくら保育園 | ・川島町立けやき保育園 |



大東文化大学看護学科地域包括ケア実習

6月中旬から7月上旬にかけて、大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科から地域包括ケア実習の学生20名を受け入れました。実習では、看護師が地域包括ケアシステムの中で果たす役割について学びました。



100歳の祝い

100歳を迎えられる方を、飯島会長がお祝いと寿状の贈呈に訪問しました。

のざわ とりこ
野澤 西子 様

大正12年8月11日生まれ



寄付のお礼

たいへんありがとうございました。
大切にさせていただきます。

- ・比企地域労働者福祉協議会 様
(10,000円)
- ・株式会社 花恒（はなつね）様
(100,000円)
- ・原田 一路 様
(車いす2台、リハビリパンツ)

掲 示 板 フ レ ン ド リ ー

歳末たすけあい運動 見舞金贈呈に関する申請案内

歳末の時期、町民の皆さまに歳末たすけあい募金のご協力をいただいています。この皆さまからいただいた募金の一部を、生活に支援を要する世帯へ贈呈します。該当する世帯、及び申請方法は以下のとおりです。

●対象世帯…次の①～③を満たす世帯

- ①令和5年10月1日現在で、町内に住民票を有し、6か月以上居住していること
- ②世帯全員の住民税（町県民税）が非課税であること
- ③A、Bのどちらかに該当する世帯

A. ひとり親世帯

- ・児童扶養手当受給世帯

B. 障がいのある方と同居している世帯

- ・障害者手帳（身体1級、療育①・A、精神1級）のいずれかをお持ちの方を含む世帯

※生活保護世帯は対象外となります。

※見舞金の金額は、今年度の募金額と申請件数によって決定されます。
（世帯ごと5,000円程度の贈呈となります）

歳末たすけあい運動は、生活に支援を要する方が明るくお正月を迎えるために、何が出来るかを考え、支援する活動です！



●申請方法…贈呈を希望される方は以下の書類をご提出ください（郵送可）

申請者全員

- 歳末たすけあい見舞金申請書 ※社協HPからダウンロード可能です
社会福祉協議会・健康福祉課にて配布もいたします。
配布期間：11月17日（金）まで配布
※令和5年度町民税・県民税の課税状況（15歳以上の世帯全員分）について、社協から町担当課へ情報を照会する事に同意が必要です。

A. ひとり親世帯

※別途書類の添付は必要ありません。（社協から町担当課へ情報を照会する事に同意が必要です）

B. 障がいのある方と同居している世帯

- 該当する障害者手帳（写）

＜提出先＞社会福祉協議会（保健センター内）または健康福祉課
＜締め切り＞令和5年11月20日（月）まで（必着）

【今後の流れ】

申請者には、11月下旬から12月上旬に申請結果と合わせて「配布日時・配布方法」について改めて通知いたします。

【提出・お問い合わせ先（日、祝日を除きます）】

社会福祉法人川島町社会福祉協議会 電話：049-297-7111
〒350-0131 川島町大字平沼1175（川島町保健センター内）
（申請書DL）右のQRコードから該当ページへアクセス可能です ⇒



お問い合わせ ▶ 社会福祉法人 川島町社会福祉協議会（川島町老人福祉センター内）

〒350-0146 埼玉県比企郡川島町大字曲師402番地1
TEL.049-299-6630 FAX.049-299-6730 E-MAIL: shomu@kawajima-shakyo.or.jp
午前8時30分から午後5時15分（祝日を除く、月～金曜日）